

令和5年度 愛知県社会福祉協議会 高齢者部会事業計画

持続可能な社会保障制度の構築に向けて、質の高い医療・介護を効率的に提供するための基盤整備が必要とされている中、高齢者の自己決定に基づき、希望する所で安心して生活できる社会の実現に向け、地域の実情に応じた介護サービスの提供や人材の確保、介護現場の生産性向上の推進が求められています。

介護分野における人材確保は、重要な課題であり職員の働く環境の改善に向けて、介護ロボット・ICT機器の導入等の支援が進められています。

こうした中、私たちには、介護・福祉分野の人材不足等の現状を踏まえながら、福祉サービス利用者の権利を守り、住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、新たな取組みを探っていくことが求められています。

とくに、地域の高齢者を支える地域包括ケアシステムは、地域共生社会の実現に向けた基盤となるものであり高齢者福祉施設や各種センターには、これまで以上に大きな期待が寄せられています。

こうした状況を受け、当部会では、法人・施設の連携を強化し、相互支援を推進するとともに、高齢者福祉施設や各種センターの課題について研究協議し、高齢者福祉の向上及び円滑な施設運営に寄与するため、次の重点事項を挙げ事業を展開します。

重点事項

- 1 福祉人材の確保・離職防止・虐待防止への取組
- 2 地域包括ケアシステムの推進
- 3 高齢者福祉施設等の先進事例の収集と研究
- 4 法人間・施設間地域連携の推進
- 5 会員相互の支援体制整備の検討

1 部会・常務委員会等の開催

- | | |
|-------------|-------|
| (1) 常務委員会 | 2回程度 |
| (2) 部会 | 1回程度 |
| (3) 正副部会長会議 | 必要の都度 |

2 部会研修会等の開催

- | | |
|---------------------------------|----|
| (1) 研修会等の開催 | |
| ① 施設長研修会 | 1回 |
| ② 職員研修会 | 1回 |
| ③ 地域包括・在宅介護支援センター職員研修会 | 1回 |
| (2) 調査・研究事業の実施 | |
| 重点事項の課題や予算要望に関する事項についての調査・研究の実施 | |

3 会員向け情報提供等の充実

- (1) メールニュースによる全国各種別協議会等の情報提供
- (2) 電子媒体（情報ネットワーク等）を活用したコミュニケーションと情報提供

4 社会福祉施設委員会等との連携

- (1) 社会福祉施設委員会の事業や研修等の企画・開催協力と参加
- (2) 国・県・指定都市等の制度・施策への提言並びに関係予算に対する要望等の取りまとめ
- (3) 社会福祉法人経営者委員会及び社会福祉施設委員会による関係機関への提言活動の実施

5 県内組織・東海北陸ブロック・全国組織との連携協力

- (1) 県内関係組織との連携
- (2) ブロック大会運営委員会への役員派遣
- (3) 各全国組織、ブロック組織への役員派遣

6 全国及びブロック研修会等への参加

- (1) 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会（愛知県 名古屋市）
令和5年10月17日（火）・18日（水）
- (2) 第2回全国老人福祉施設大会・研究会議（岐阜県 岐阜市）
令和5年11月29日（水）～30日（木）
- (3) 東海北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究協議会（三重県 津市）
令和5年12月1日（金）
- (4) 全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会
令和5年9月11日（月）・12日（火）（北海道 札幌市）
- (5) 全国地域包括・在宅介護支援センター研修会
令和6年3月4日（月）
- (6) 全国地域包括支援センターリーダー職員研修会
令和5年7月19日（水）

7 災害等に備えた体制整備への取組

- (1) 愛知県災害福祉広域支援推進協議会への協力
- (2) 災害時及び感染症等に関わる事業継続計画（BCP）等の策定支援
- (3) 社会福祉法人経営者委員会・社会福祉施設委員会との支援体制整備の検討

8 教員免許特例法による介護等の体験の実施

- (1) 体験の受入れ協力と体験趣旨の徹底
- (2) 体験希望学生や所属大学との調整

9 人材確保のための取組推進

- (1) 福祉人材センター事業への協力
- (2) 福利厚生センターへの加入促進

10 共同募金運動への協力

11 愛知県セルフセンター事業への協力